



2025年12月 日本の特許出願件数が 異例の急増 —— 82,188件の衝撃と その背景

概要

2025年12月の日本における特許出願件数が**82,188件**（特許単独）に達し、前年同月比で**168.9%増**（約2.7倍）という過去に例のない異常な急増を記録した。特許・実用新案を合わせると**82,610件**（同166.6%増）となる。特許庁が2026年2月26日に公開した「特許出願等統計速報（令和7年12月分）」で明らかになったこの数値は、知財業界・SNS上で大きな議論を巻き起こしている。[1][2][3]

公式統計データ

特許庁の統計速報（令和8年2月24日作成・暫定速報値）から得られる2025年（令和7年）の主要数値は以下のとおりである。[2]

月別特許出願件数（2025年7月～12月）

月	特許出願件数	前年同月比
7月	23,469件	▲8.4%
8月	20,957件	▲30.9%
9月	27,093件	▲3.0%
10月	26,281件	▲0.9%
11月	30,507件	+35.6%
12月	82,188件	+168.9%

年間合計

区分	2025年 (R7)	2024年 (R6)	増減率
特許	358,313件	306,855件	+16.8%
特許+実用新案	363,079件	311,510件	+16.6%

年間35万件を超える特許出願は、リーマンショック後の2008年以來、約17年ぶりの水準である。[1][4]

異常値の際立ち方

通常、日本の月別特許出願件数は**2万~3万件台**で推移しており、年度末の3月や年末の12月にやや集中する傾向がある。過去5年間の12月の出願件数は概ね3万件前後で推移しており、2024年12月も約30,563件であった。2025年12月の82,188件はこの通常水準の**約2.7倍**に相当し、過去10年間を振り返っても同水準の出願は確認されていない。[1][4][2]

2025年の年間増加分（約5.1万件）のほとんどが11月・12月の急増に集中している点も特徴的である。7月~10月はむしろ前年同月比でマイナスまたは横ばいで推移しており、年末の2か月間に突如として出願が爆発的に増えた構図となっている。[2]

急増の推定要因

「特定企業の大量出願」が最有力

特許庁は日経クロステックの取材に対し、「出願人などの詳細な情報にはお答えできない」と回答している。しかし、X（旧Twitter）上の検証では「AI普及による緩やかな増加」ではなく「**特定企業の大量出願**」が最も有力な原因として指摘されている。[1][5]

この推定の根拠として、以下の事実がある。

- 2024年11月に開催された**産業構造審議会 知的財産分科会 第9回財政点検小委員会**で、特許庁は「2024年7月・8月に**特定の企業による大量出願**があった」と報告しており、「AI関連のかなり大きな企業からの出願」と説明している。[6]

- 同審議会の議事録では、田岡総務課長が「昨年の9月と今年の7月、8月には特定企業からの大量出願が**1万件とかそういう単位**で出てきた」と述べている。[6]
- PCT国際出願の増分は+296件のみであり、12月の異常増をPCT出願では説明できない。[5]

ソフトバンクグループの先例

2023年9月にソフトバンクグループが約**9,989件**もの特許を一斉出願した先例がすでに存在する。同社は2022年にわずか89件だった出願件数を、2023年には**9,403件**（前年比100倍超）へと急増させ、そのほぼ全てがAI関連発明であった。[7][8][6][9]

孫正義会長が主導した「生成AI活用コンテスト」で集まった約10万件のアイデアのうち1万件を出願したとされ、発明者数は6,000人以上にのぼる。さらに2024年7～8月にも「第二の山」として1万件規模の大量出願があったと推定されている。[10][6][9]

2025年12月の82,188件の急増も、同様の特定企業（ソフトバンクグループまたは類似のAI関連大企業）による大量出願の可能性が高いとの見方が知財業界では主流となっている。[4][5]

AI技術ブームの背景

大量出願の背景には、広範なAI関連特許競争がある。

- 日本国内のAI関連特許出願件数は2022年に約**10,300件**に達し、2023年にはさらに**11,445件**に増加した。[11][12]
- 特許庁はこの傾向を「**第4次AIブーム**」と位置づけている。[11]
- 生成AI（ChatGPTなど）の登場以降、企業はAI関連の発明を早期に特許化する動きを加速させている。[12][7]
- WIPOの調査では、生成AI関連の発明は過去10年で5.4万件公開され、うち1.4万件超が2023年の1年間に集中した。[12]

知財業界・SNSでの反応

日経クロステックが2026年2月27日に報じた記事「特許出願数が異例の水準に、25年12月は前年同月比170%増 ちらつくAIの影」は、公開直後からX上で大きな話題となった。[3][13]

知財実務家の間では以下のような反応が見られる。

- **歓迎する声**：「特許出願数が35万件を超えたのは、リーマンショック以降初めて。特許をやっている実務家にとって久々の明るいニュース」[4]
- **懐疑的な声**：「AIの影響とする見方が多いけど、生成AIはもう少し前からあった。12月だけ突然増えたのは不自然で、特定企業の一括出願の可能性が高い」[14]

- **出願手数料への疑問**：「出願手数料が納付されているかが気になる。生成AIの大量自動出願の可能性もある」 [15]
-

特許庁の財政への影響

特許庁の財政点検小委員会での議論によれば、特許の出願料は1件14,000円であり、1万件規模の大量出願による歳入インパクトは「それをかけ算した程度」（約1.4億円）とされている。[6]

仮に12月の異常増分（通常水準との差分約5万件）が全て出願料を納付済みであれば、約7億円の歳入増となる。ただし、大量出願の審査請求率が低ければ、審査請求料（約15万円/件）による歳入は限定的となり、特許庁の業務負荷への影響は出願件数ほど大きくない可能性がある。[6]

今後の注目点

- **2026年1月以降の出願動向**：12月の急増が一時的なものか、恒常的なトレンド変化かを判断するには、1月以降の推移を注視する必要がある。[4]
 - **出願公開（18か月後）**：2025年12月の出願は2027年半ばに公開される予定であり、その時点で出願人・発明内容の全容が判明する。[4]
 - **審査請求率**：大量出願の審査請求率が低ければ、権利化を前提としない「防衛的・投機的出願」の可能性が示唆される。
 - **特許庁の審査体制**：2024年度のFA期間は9.1か月と短縮傾向にあるが、大量出願が審査請求に至った場合の審査負荷増大が懸念される。[16]
 - **他企業への波及**：ソフトバンクの大量出願に触発された他企業がAI特許の取得を加速させれば、日本のAI特許競争はさらに激化する見通しである。[7][9]
-

References

1. [特許出願数が異例の水準に、25年12月は前年同月比170%増](#) [ちらつくAIの影](#) - 2025年12月の特許出願件数が8万2188件となり、前年同月比168.9%増（約2.7倍）に達した。特許庁が2025年2月26日に公開した「特許出願等統計速報（令和7年12月分）」で明らかになった。...
2. [\[PDF\] 特許出願等統計速報](#) - ※本統計速報値は、特許庁統計処理用データの暫定速報値です。今後、件数に変動が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。令和7年7月～令和7年12月。

3. [X \(旧Twitter\) で話題のおもしろ画像や動画 - Yahoo!リアルタイム検索](#) - 話題になった特許出願激増の件、記者が追いかけてきました！ 特許出願数が異例の水準に、25年12月は前年同月比170%増 ちらつくAIの影 xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column...
4. [これはちょっと良い傾向～ マジです](#) - 11月が30,507件で、2024年比34.8%伸び、12月はなんと82,188件で、2024 ... そこが効いたわけです。 とは言え、特許出願数が35万件を超えたのは ...
5. [X \(旧Twitter\) で話題のおもしろ画像や動画 - Yahoo!リアルタイム検索](#) - この速報の12月分を一次情報から検証した結果、「AI普及による緩やかな増加」ではなく「特定企業的大量出願」が最有力。 特許庁自身が審議会で同様の現象を説明済み。PCT ...
6. [ソフトバンクの大量特許出願が4月に約1万件公開](#) - 2023年9月にソフトバンクGが1万件レベルで特許出願しているということでしたが、これまでに公開されたソフトバンクGの 2023年9月...
7. [ソフトバンクの大量特許出願とそ...](#) - みなさん、こんにちは。株式会社IPリッチのライセンス担当です。今回は「特許出願増加の背景とソフトバンクの影響」というテーマでお話しします。本記事では、日本国内における特許出願件数が近年再び増加に転じた...
8. [ソフトバンクによる 生成AI の大量出願 | kichm](#) - ソフトバンクの特許1万件の衝撃 先日、特許情報プラットフォーム J-PlatPat で ソフトバンク の特許を何気なく調べたところ、とんでもないことが起こっていた。2023年後半から2024年にかけて...
9. [特許出願が前年の100倍越え。AI時代の特許戦争の始まり](#) - 近年、AI技術の発展は目覚ましく、各企業がその覇権を争う「AI時代の特許戦争」が静かに幕を開けています。 AI関連発明の国内特許出願件数の推移。特許行政年次報告書(2025年版)より引用 その最前線で...
10. [ソフトバンクの怪しい知財戦略?! AI産業への布石 - note](#) - 出願から公開されるまでには、約18か月の期間が存在するため、2025年12月4日現在では、2024年5月くらいまでに出願された特許が公開されています。
11. [\[PDF\] IP News Bulletin for Japan and China, December 2025](#)
12. [AI関連特許の急増と技術動向 \(直近5年間\) - PatentRevenue](#) - AI関連特許の急増と技術動向 こんにちは。株式会社IPリッチのライセンス担当です。今回は、近年急増しているAI (人工知能) 関連特許の出願動向と、その背後にある技術トレンドについてわかりやすく解説します...
13. [特許出願数が異例の水準に、25年12月は前年同月比170%増 ...](#) - 特許出願数が異例 ... 特許出願数が異例の水準に、25年12月は前年同月比170%増 ちらつくAIの影. xtech.nikkei.com
14. [先日発表された2025年12月分の特許出願件数。 従来よりも急増して ...](#) - 先日発表された2025年12月分の特許出願件数。 従来よりも急増しており、とても興味深いデータ。 AIの影響とする見方が多いけど、生成AIはもう少し前 ...

15. [加島広基 / Hiromoto Kashima \(@kashima510\) / Posts / X](#) - 令和7年12月分の特許出願件数の異常値（通常より約5万件多い）が話題ですが出願手数料が納付されているかどうか気になるところです。個人的な予想だけど生成AIの ...
16. [特許行政年次報告書2025年版](#)を公表（特許庁） | [お役立ち情報](#) - お役立ち情報「2025年8月総合コラム：「特許行政年次報告書2025年版」を公表（特許庁）」のページです。埼玉県近郊で、特許事務所をお探しの方、特許や商標の出願をお考えの方。13路線が利用可能な大宮駅...